

毎年
4/2~4/8は
発達障害啓発週間
です!

発達障害啓発週間

2007年国連において、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー(WAAD)」とすることが定められたのを機に、わが国では4月2日からの1週間を「発達障害啓発週間」と定め、広く発達障害についての理解と支援を呼び掛ける活動を進めています。



発達障害啓発週間 2018 JDDnet大阪企画

上映会

働きやすい文化を創る

&

シンポジウム

発達障害者の就労を考える

日時：4月 8日(日) 13:30~16:30 (13:10受付開始)

会場：ドーンセンター 4F 大会議室3

(大阪府立男女共同参画・青少年センター)

大阪市中央区大手前1丁目3番49号

TEL 06-6910-8500

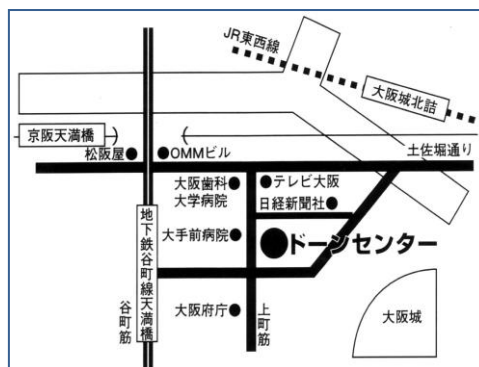
参加費：一般 1000円

(JDDnet会員は、500円)

定員：70名(申し込み先着順)

申込先：メール jas-os@nifty.com FAX 06-4862-4158

(詳しくは、裏面をご覧ください。)



プログラム

13:30 開会あいさつ

13:40 「働きやすい文化を創る」上映

14:10 シンポジウム：発達障害者の就労を考える

シンポジスト：井上 宣子 氏 (サテライト・オフィス平野 所長)

シンポジスト：奥脇 学 氏 (有限会社奥進システム 代表取締役)

コーディネーター：辻 薫 氏 (大阪府作業療法士会理事、大阪発達総合療育センター)

16:20 閉会あいさつ

16:30 終了

主催：日本発達障害ネットワーク大阪 (JDDnet大阪)

後援：日本発達障害ネットワーク (JDDnet)

今年のテーマは、「発達障害者の就労」です。平成28年4月、改正障害者雇用促進法が施行され、障害者に雇用についての差別禁止、合理的配慮の提供など事業主に義務付けられました。また、平成30年4月からは、精神障害者が法定雇用率の算定基礎に加えられるようになりました。

しかし、発達障害者が就労し、継続して働いていくためには、就業と生活の両面からの支援が重要であり、継続して働いていく環境をどう作り出していくかが課題となっています。職場における合理的配慮をどう構築していけばよいのか、発達障害者の就労の現状および就労定着について考えます。

申込方法

申込先 メール jas-os@nifty.com

FAX 06-4862-4158

- ※ 必要事項（氏名、連絡先、JDDネット所属の団体の会員は所属団体名）を明記の上、メールかFAXにてお申し込みください。
- ※ 参加希望者のお名前はすべて書いて下さい。
- ※ 所属団体名（下記記載の参加団体）がない場合は、一般での受付となります。
- ※ 先着順受付で定員（70名）になり次第締め切ります。
- ※ 申し込まれた方には受付番号を連絡先にお送りさせていただきます。携帯電話からのお申し込みの場合、PCからのメールを受け取れるようにしておいてください。
- ※ 申し込みをされてから1週間以上、受付番号の連絡がご確認できない場合は、早めにお問い合わせください。
- ※ 参加費は、当日会場受付にてお支払いください。

日本発達障害ネットワーク(JDDnet)は、発達障害関係の全国および地方の障害者団体や親の会、学会・研究会、職能団体などを含めた幅広いネットワークで、我が国における発達障害を代表する全国組織として従来制度の谷間に置かれ支援の対象となっていなかった、あるいは適切な支援を受けられなかった、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等の発達障害のある人および家族の権利と利益の擁護者として、理解啓発・調査研究・政策提言等を行い、発達障害のある人の自立と社会参加の推進に向けて活動を行っています。



JDDnet 大阪は、下記団体が参加して、大阪でのJDDnet エリア活動を進めています。

日本発達障害ネットワーク大阪(JDDnet大阪) 参加団体

大阪府臨床心理士会 大阪府作業療法士会 日本感覚統合学会 日本LD学会
S.E.N.Sの会大阪支部会 大阪自閉スペクトラム症協会
大阪LD親の会「おたふく会」 大阪LD・軽度発達障害親の会「翼」
アルクラブ（大阪アスペの会）
自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会 オアシス
＜オブザーバー＞ 大阪府発達障がい者支援センター
大阪市発達障がい者支援センター
堺市発達障害者支援センター